

月刊びゃっきープレス

2008

無料配布

ライブ予定

11 月号

↑あたりまえ

毎月初回ライブ日発行

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人

2008 年 12 月 12 日(金)
阿佐ヶ谷 Next Sunday
2008 年 12 月 27 日(土)
東高円寺 kaztou

byacky press

びゃっきーがついにアルバム制作に乗り出した。活動を一気に次の段階へとの上上げるための重要なポイントと位置付け、かなり気合を入れて作業に励む。録音しては聴き、却下をしては録音し、録音してはまた聴き、そして最後にはまた一から録り直す。そんな作業を繰り返し、繰り返し、制作は遅々として進まない。その間にも新しいアイディアは浮かんでくる。果たしてこの制作に終わりはあるのか？

アルバム制作



ようやく本格始動 精一杯良質な物を

本人すら全く先が見えず

昨年十一月にCDシングルを発売しながらも、発売時点で既に歌い方が大幅に変更されていたという何やら安定しない音楽活動を行っていたびゃっきー。それからさらに何度かのマイナーチェンジを繰り返して、そろそろある程度落ち着いてきたかと判断し、アルバムの制作に取り掛かることにした。

今回は「納得いくまで何度でもやり直す」というコンセプトの元、パンチインは極力排除し、それが1テイク目か200テイク目かは知らないが、とりあえず一発録りを目指すことに。何度でもやり直すことで、より深く曲を理解できるという効果もあるだろうと考え、時間を理由に妥協しないことを自分に言い聞かせながら取り組んでいる。大体原型が組み上がった録音も、ピアノの音が一瞬にこ

ったという理由で却下し、一からやりなおすというような事態が早くも発生している。今後はそのようなことが頻繁に発生すると思われる。平日は仕事があるため、制作に当てられるのは、土日祝日のみ。その限られた時間で、にも関わらず時間に糸目をつけずにやることとなる、果たして完成しないかもしれない。それも覚悟の上である。それでもやるしかない。次のステップに進むには妥協のない音源がどうしても必要なのである。

収録曲数をどうするか、曲目をどうするか、変更の日々である。同じような曲が重ならないように、新曲は入れた方がいいのではないかなど悩まは尽きない。ギター曲を入れるかどうか悩まはるところである。正直などころ一曲ぐらい入れてみたいが、びゃっきーのギター演奏が果たして録音に堪えるのか。また、ギターそのものはどうするの。ラインで入力できる、唯一手元にあるエレアコは、何やらラインを通すと電氣的なビビリしたノイズが乗りまくりで、おそらくビックアップが確かな物ではない。かと言って、アコギをマイクで拾うのも難しい。一曲10分ぐらいの大作も入れたいし、はたまた1分30秒くらいの引き締まった曲も作った方がいいような気がするし、ボーナストラックはどうするか、こんな話を聞いていると、本当に出来るのか自分でも疑問である。

最後に、今回はきちんとプレスする予定なので、前回つけたオマケアニメは残念ながらつけられないと思う。アニメを期待してくれていた人、すみません。(びゃっきー)